

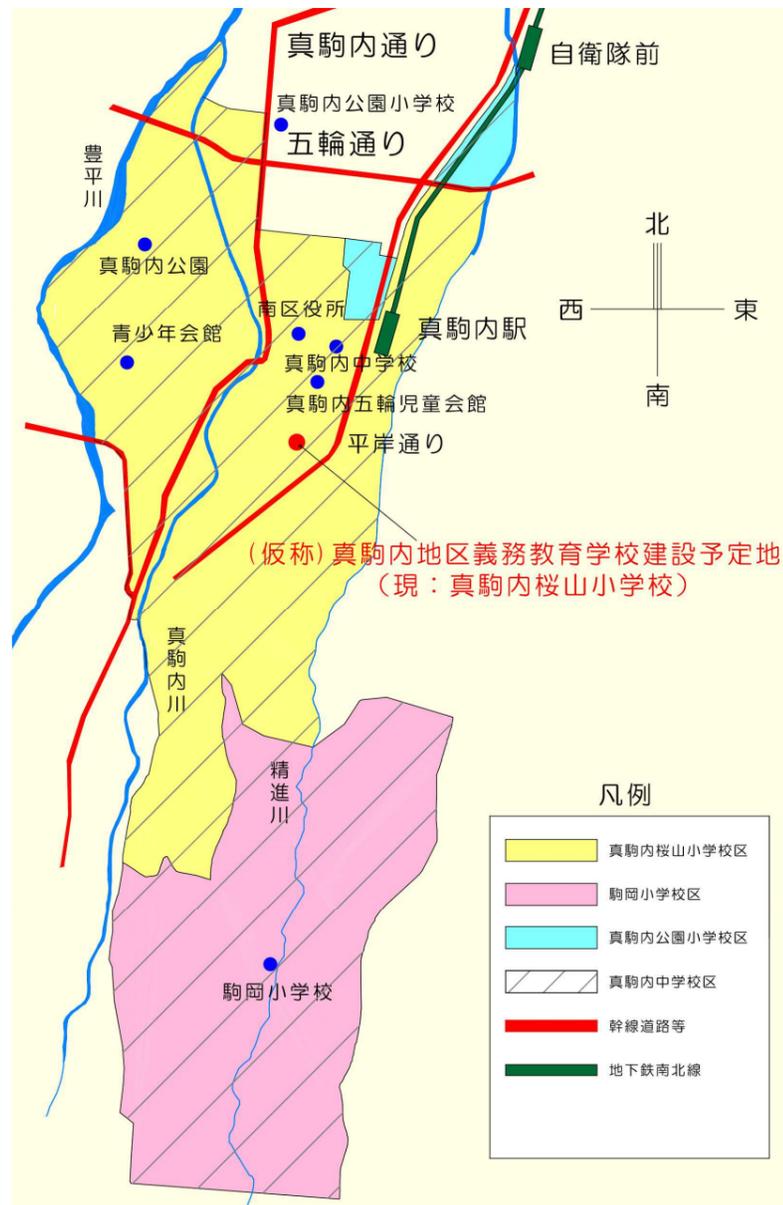
(仮称) 真駒内地区義務教育学校新築ほか工事基本設計 配置計画案

□ 整備方針

- 真駒内桜山小学校と真駒内中学校は、両校とも建築後50年以上が経過しており、改築が同時期であり、校区が概ね一致していることから、真駒内桜山小学校と真駒内中学校を義務教育学校として、真駒内桜山小学校の敷地に新たに校舎を整備します。
- 当該校舎には、給食調理室を整備するほか、真駒内五輪児童会館との複合化を図ります。
- 現在の小学校の屋内運動場（平成8年築）は活用し、新たに第2屋内運動場を整備します。
- 真駒内桜山小学校に近接した道警官舎跡地を取得して、第2グラウンドを整備します。

□ 計画地の周辺環境

(仮称) 真駒内地区義務教育学校を設置予定の桜山小学校は、札幌市中心部から真南に直線で約8.5 kmに位置しています。閑静な住宅地に位置しており、敷地南東側は4階建ての道営住宅団地、北西側は泉町公園となっています。敷地北東側と南西側は2階以下の戸建て住宅地となっています。



□ 計画地

札幌市南区真駒内泉町3丁目
13番地1号
敷地面積 21,648 m²
第1種低層住居専用地域

□ 周辺道路

- 北東側：市道 真駒内団地7号線
幅員 12.0m
(歩道両側 幅員 3.0m)
- 南東側：市道 真駒内団地東4号線
幅員 13.0m
(歩道両側 幅員 3.0m)
- 南西側：市道 真駒内南町1号線
幅員 18.0m
(歩道両側 幅員 3.5m)
- 北西側：市道 真駒内団地東3号線
幅員 7.0m (歩道なし)

□ 現況敷地及び建物

- 校舎は敷地の北東側、屋内運動場は南東側、プールは南側、グラウンドは西側に配置されています。
- 校舎は、昭和41年(1966年)に建設し、その後7回にわたり増築を行っています。屋内運動場は、平成8年(1996年)に改築しています。プールは、昭和61年(1986年)に建設しています。



□ 施設計画概要

- 校舎 約9,940 m² (給食室 370 m²を含む)、第2屋内運動場 (約1,000 m²)

校舎			
普通教室	普通教室 (24室)	多目的室	4室 (ICT対応、少人数対応 (2室)、武道対応)
	ワークスペース		
特別支援学習室	特別支援学習室 (4室)	管理諸室	校長室、職員室、印刷室、保健室、PTA室、用務員室、会議室 (普通教室対応)、職員更衣室、塵芥庫、リサイクル庫、教材室、物品庫、除雪機置場
	プレイルーム (2室)、ワークスペース		
特別教室	第1理科室・同準備室、第2理科室・同準備室	通級指導教室	学習室 (7室)、プレイルーム、準備室 (職員室)、保護者控室
	第1音楽室・同準備室、第2音楽室・楽器室・練習室		
	美術室・同準備室、技術室・同準備室・機械室	その他	昇降口、ポンプ室、給食室、配膳車置場、備蓄庫、エレベータ、トイレ
	被服室・同準備室、調理室・同準備室		
	図書室		
	特別活動室 (2室)・生活科室 (普通教室対応)		
教育相談室、進路指導室、心の教室			

第2屋内運動場

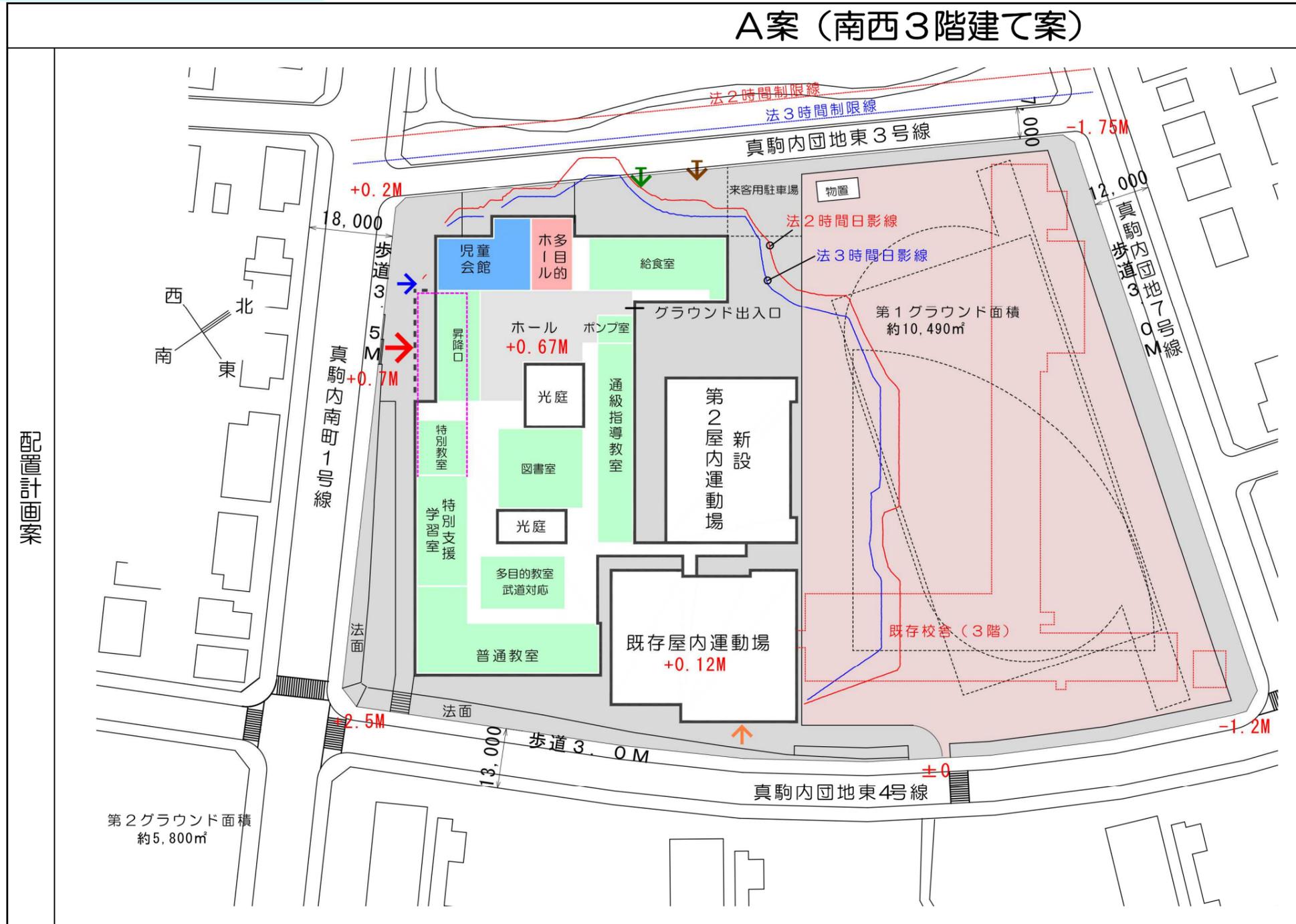
- 児童会館 約300 m²、多目的ホール 約150 m²

児童会館
風除室、玄関、事務室、遊戯室、集会室、クラブ室、図書コーナー、トイレ、多目的トイレ、水飲み場、収納、多目的ホール

屋外環境施設

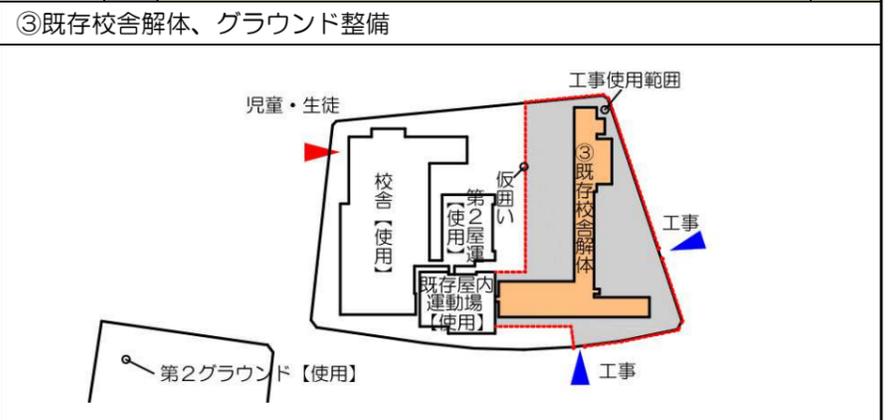
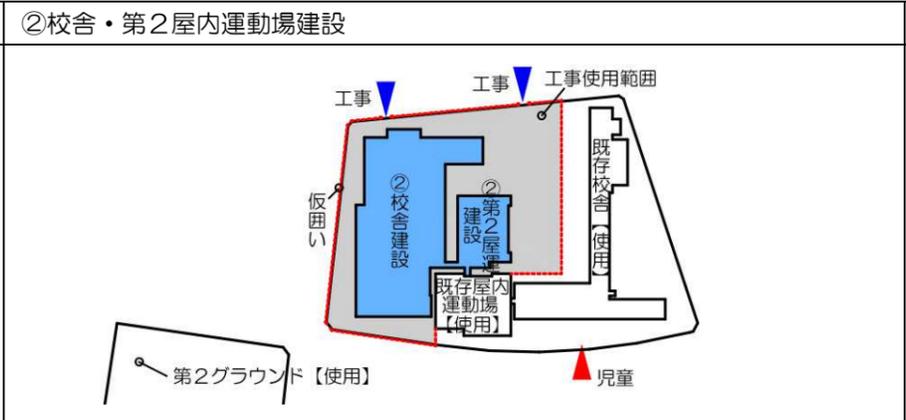
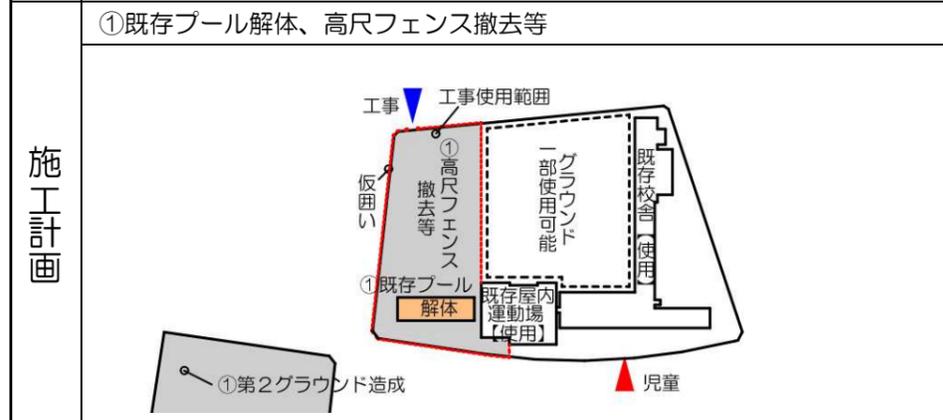
屋外環境施設
グラウンド用屋外物置、教材園

A案（南西3階建て案）



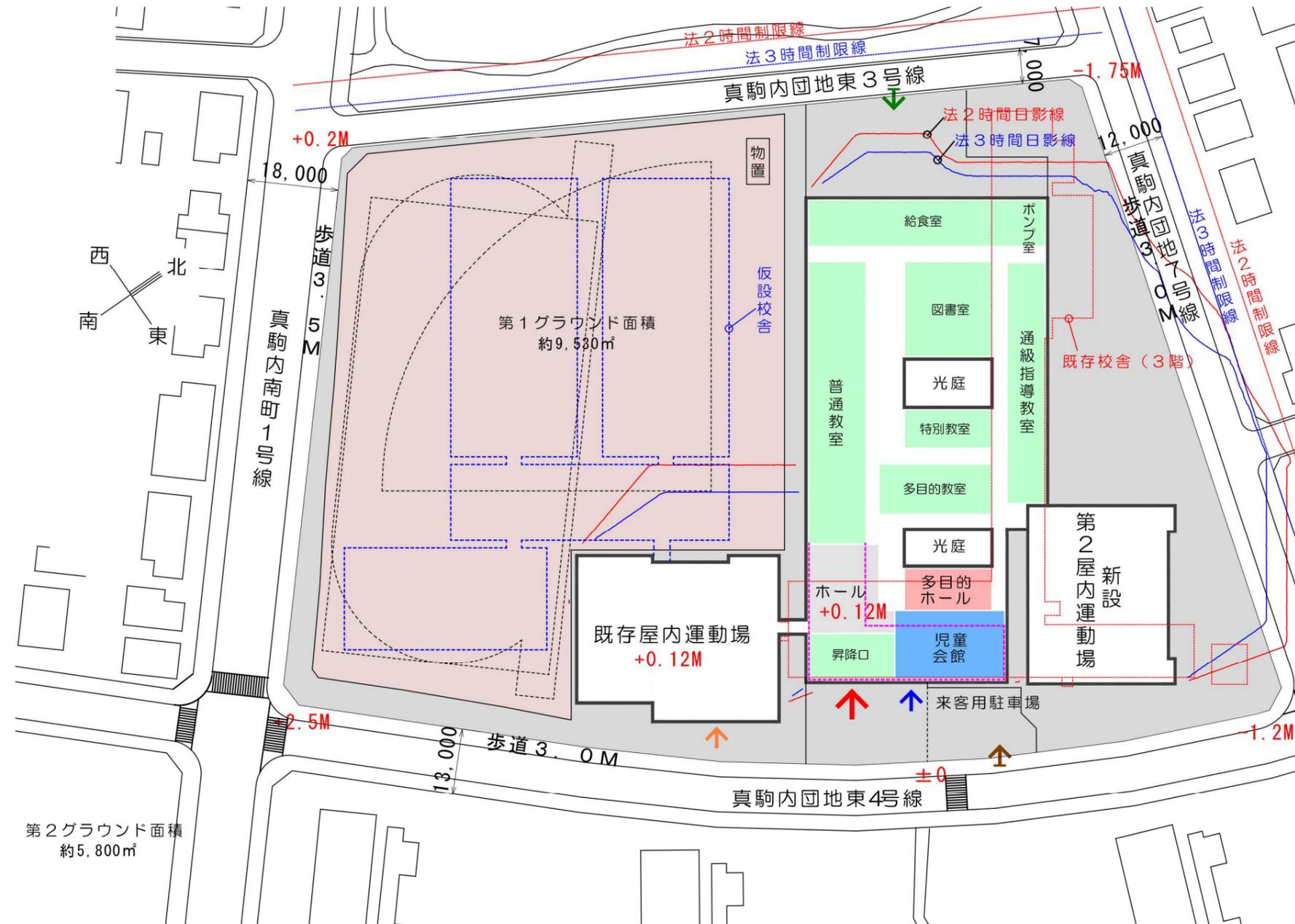
- 凡例
- ← 義務教育学校昇降口
 - ← 児童会館入口
 - ← 屋内運動場開放入口
 - ← 一般車
 - ← 給食サービス車
 - 校舎・屋内運動場
 - 児童会館
 - 多目的ホール
 - 校舎1階の主要室
 - 普通教室ゾーン (2-3階)

項目		評価
1. 周辺への影響（日影等）	影響が少ない	○
2. 開放エリアのまとまり（屋内運動場、図書室）	まとまっている	○
3. 屋内運動場	近接しており、連動利用可	○
4. グラウンド形状・規模	整形、広く確保	○
5. 仮設校舎の有無	仮設なし	○
6. 新築完成までの工期	約2年	○
総合評価		○



B案（北東3階建て案）

配置計画案



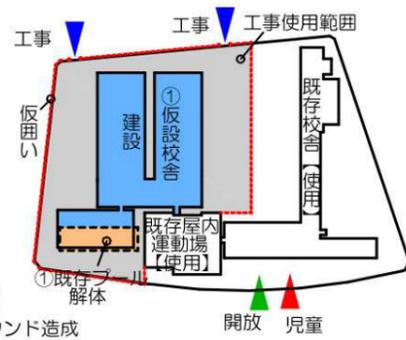
- 凡例
- ← 義務教育学校
 - ← 昇降口
 - ← 児童会館入口
 - ← 屋内運動場
 - ← 開放入口
 - ← 一般車
 - ← 給食サービス車
 - 校舎・屋内運動場
 - 児童会館
 - 多目的ホール
 - 校舎1階の主要室
 - 普通教室ゾーン (2-3階)

本案の特徴

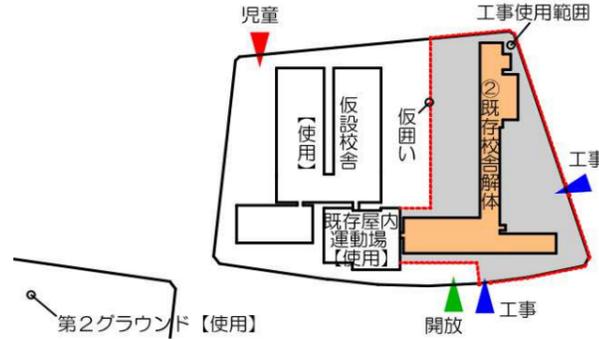
項目	評価
1. 周辺への影響（日影等）	現況と同等 ○
2. 開放エリアのまとまり（屋内運動場、図書室）	分散している △
3. 屋内運動場	近接しておらず、連動利用不可 △
4. グラウンド形状・規模	不整形、やや狭い △
5. 仮設校舎の有無	仮設あり、事業費増 △
6. 新築完成までの工期	約3年 △
総合評価	
	△

施工計画

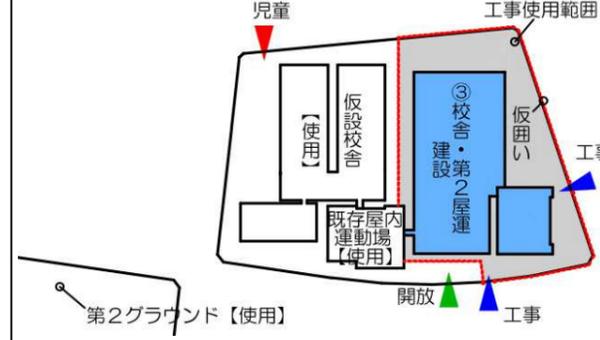
①仮設校舎建設、既存プール解体



②既存校舎解体



③校舎・第2屋内運動場建設

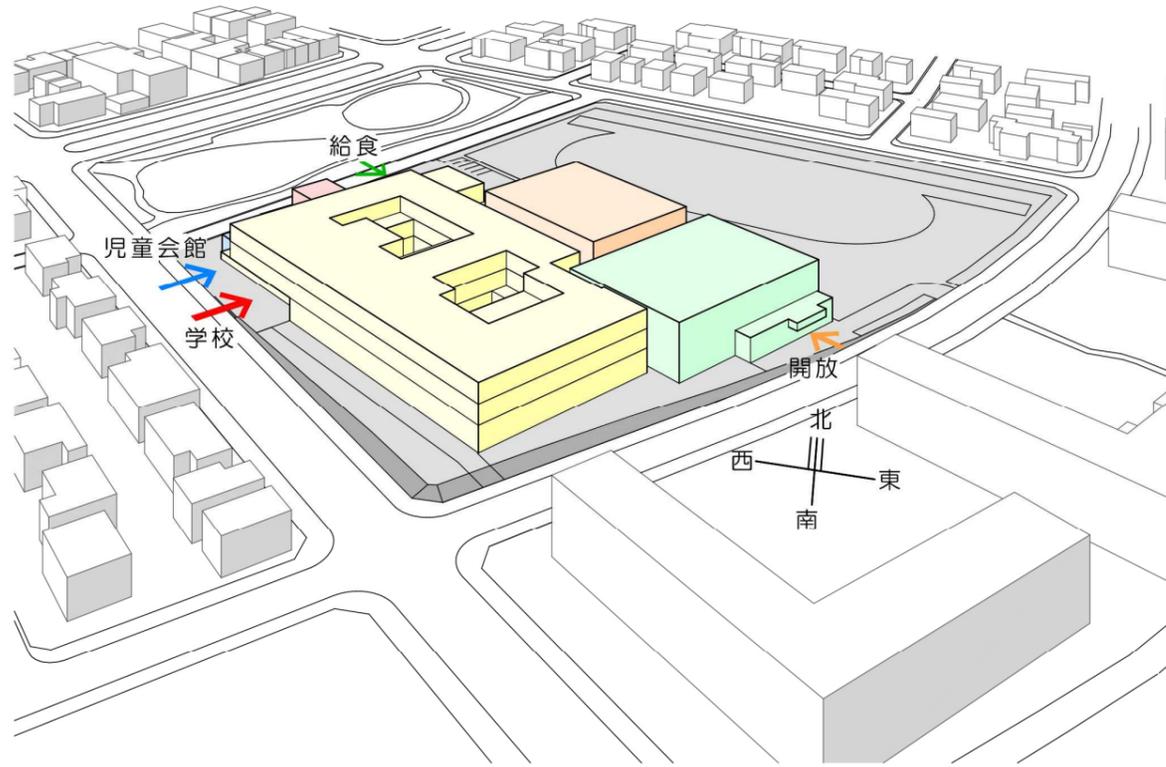


④仮設校舎解体、グラウンド整備

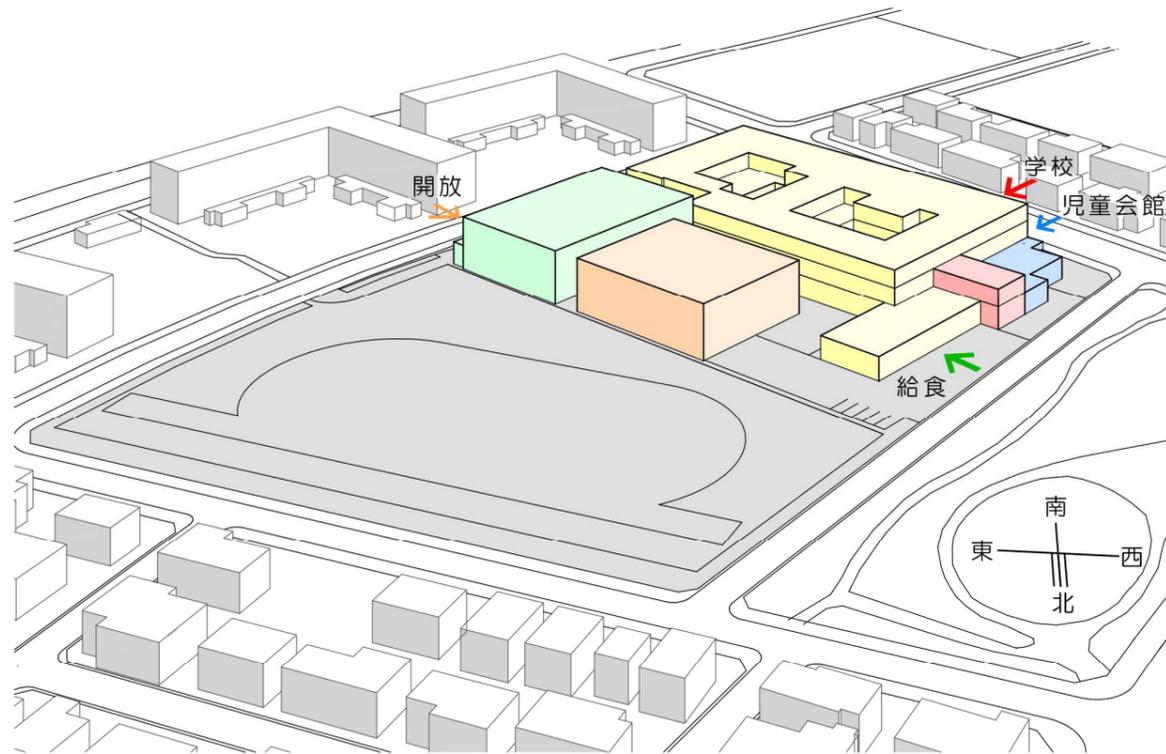


□ 各案の完成イメージ図

A案（南西3階建て案）

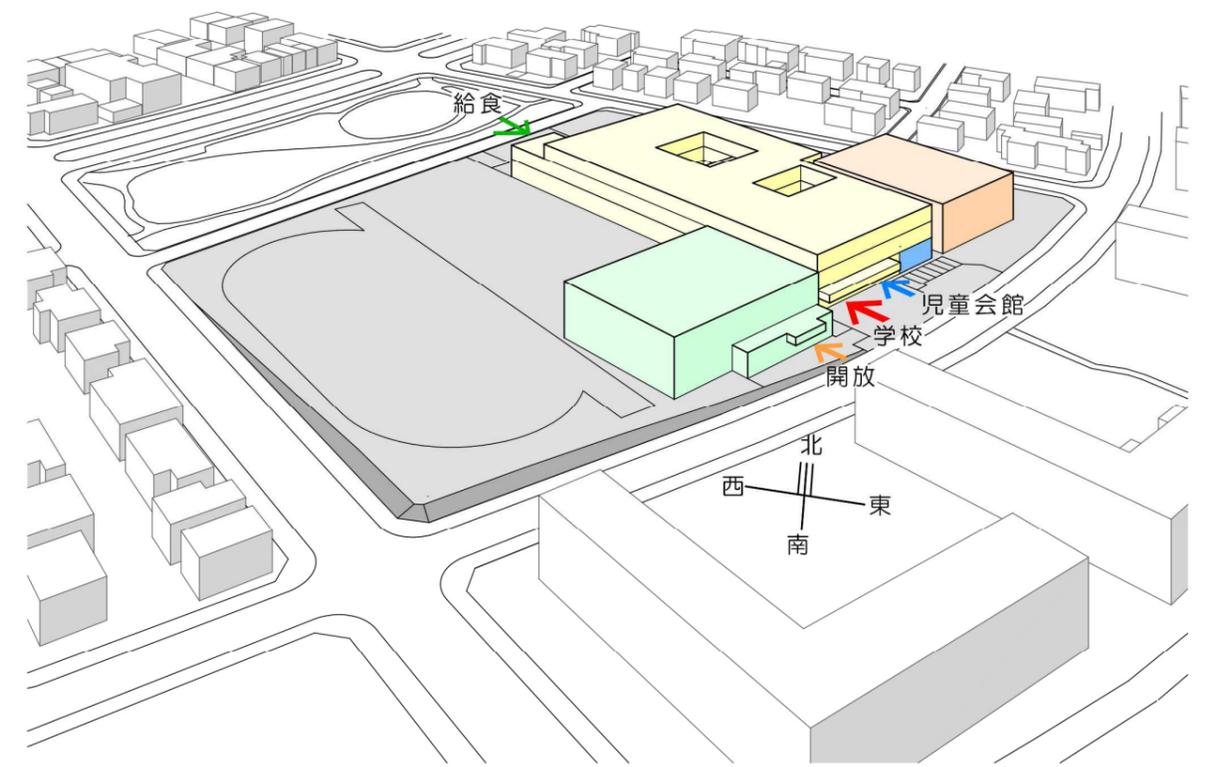


南側上空より

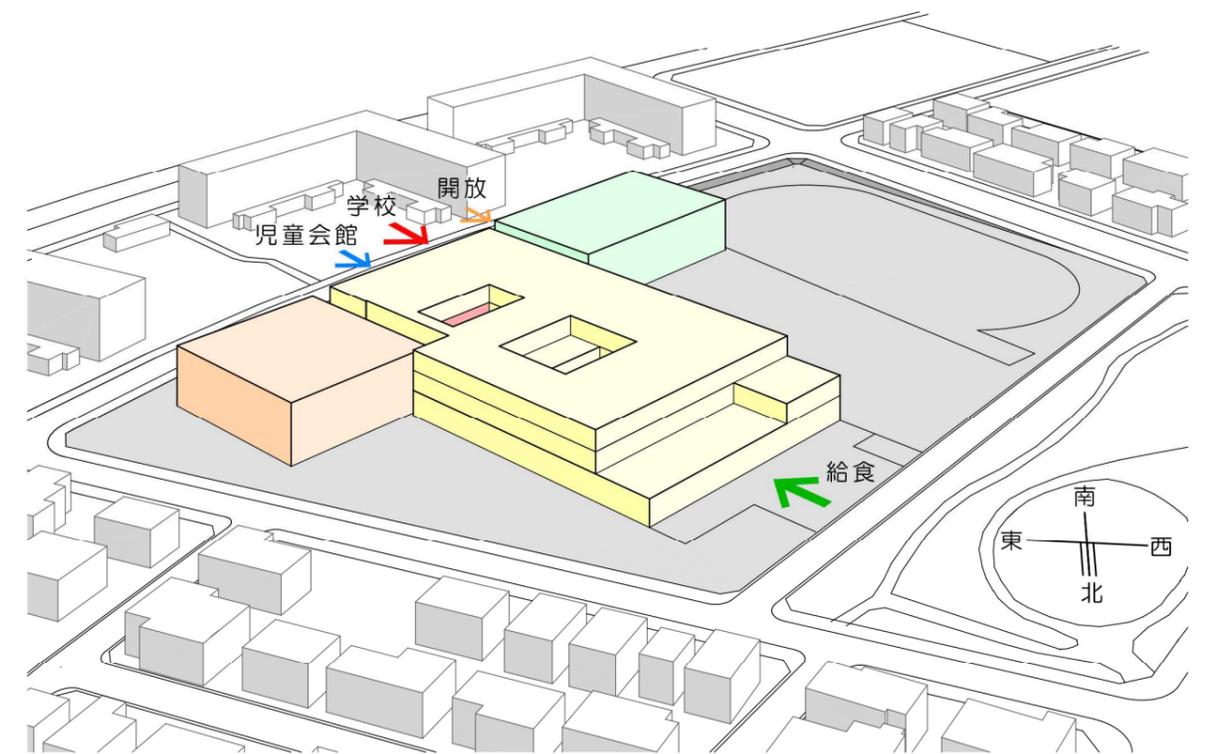


北側上空より

B案（北東3階建て案）



南側上空より



北側上空より

建物凡例： 校舎 既存屋内運動場 第2屋内運動場 児童会館 多目的ホール ※イメージ図の為、実際と異なる場合があります